

総会経過概要

第七二回全国労働委員会連絡協議会総会は、平成二九年十一月一六日(木)から一七日(金)にかけて、中野サンプラザにおいて、公労使各側打合せが行われた後、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長及び事務局職員を含め、約五五〇名の参加者により開催された。

一六日には、山川隆一全国労働委員会連絡協議会会長の挨拶、牧原秀樹厚生労働副大臣挨拶後、山川会長が議長となり、公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に三井栄委員(岐阜)・滝澤功治委員(兵庫)、労働者側副議長に東盛政行委員(沖縄)・伊藤一美委員(愛知)、使用者側副議長に佐藤登委員(富山)・山本憲治委員(大阪)がそれぞれ指名された。

続いて、山本眞弓運営委員長(中労委・公)から前回総会以降の運営委員会審議経過についての説明が行われ、了承された。続いて、苧谷秀信全国労働委員会連絡協議会事務局長から、労働委員会の活動状況についての報告が行われた。

続いて議題審議に入り、第一議題として、「労働委員会の活性化について」(中労委公労使提案)の経験の交流が行われた。

提案理由説明

三輪 和雄(中労委・公)

事例発表

矢野 生子(長 崎・公)

豊永 寛二(徳 島・公)

山元 浩(山 口・公)

肱岡 勇夫(滋 賀・公)

井上 毅(福 井・公)

小野 正毅(山 梨・公)

大澤 一實(青 森・公)

一七日には、「積極的労使自治の道筋」と題して、仁田道夫氏(前中央労働委員会会長代理)による講演が行われた。

その後、第二議題として「パワハラを原因とするあっせん申請への対応状況について」(中国・四国ブロック公労使提案)の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

鷹取 司(岡 山・公)

意見発表

後藤 厚一(宮 崎・公)

軍司 輝雄(東 京・労)

中村 敬(石 川・使)

熊野 隆夫(兵 庫・労)

加島 裕士(熊 本・使)

中村稚枝子(新 潟・公)

午後からは、第三議題として「審査事件に不慣れな当事者への調査・審問での審査指揮につ

いて」(中部ブロック公労使提案)の経験と見解の交流が行われた。

提案理由説明

三浦 敏秀(三重・公)

意見発表

房村 精一(東京・公)

内匠 雅也(広島・労)

山口 茂(滋賀・使)

鈴木 三男(福島・労)

大西 宏昭(愛媛・使)

采女 博文(鹿児島・公)

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、山川会長の閉会の挨拶をもって総会は終了した。

総会終了後、第一回運営委員会が開催され、運営委員長に山本真弓委員(中労委・公)が、副運営委員長に成田龍一委員(愛知・公)がそれぞれ選出された後、平成三十年の総会に関する事項等が審議された。